

東海道五十三次

大津 おおつ

商人の町として陸上湖上交通の要衝として栄えた大津。古くは近代まで多くの伝説事件が集中しているこの土地は一日では回り切れないほど見どころが多い。

▲ 瀬田の唐橋



瀬田の唐橋は多くの物語伝説が刻まれた橋である。かつてはこの橋が瀬田川にかかる唯一の橋京へ向う際の要衝であったため、生甲の乱・源平合戦・応仁の乱・本能寺の変などの戦乱のために幾度も焼

け落ちた。こんな唐橋もいまではうららかな湖畔の名所。交通量が多いため宝珠を懸した橋の姿がなかなか美しい。



子下シ
鮎寿司(五〇〇年前から)
伝わるというれは鮎の
熟れ寿司は独特の強烈なにおいで知られるが最近では製法や保存方法の工夫でかきほぐすではない。
木前自養(中)と芭蕉、木曾殿と背中合わせに並ぶ歴々かな。力餅：比叡山延暦寺で自力でつくった。舟慶にちなみ江戸時代からつくった。挽きたてのきな粉の香ばしさが味わえる。